



# 株主のみなさまへ

第115期 中間報告書

平成28年 4月1日～平成28年 9月30日



子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION  
**清水建設**

## 目 次

|     |                 |
|-----|-----------------|
| (頁) |                 |
| 1   | 株主のみなさまへ        |
|     | 上半期事業状況         |
| 2   | 決算ハイライト         |
| 3   | 事業の概況（連結及び当社単体） |
|     | 経営方針／会社情報       |
| 5   | 経営方針と重点施策       |
| 6   | 会社概況／株式の状況      |
|     | 財務諸表            |
| 7   | 連結              |
| 9   | 当社単体            |
|     | 〔ご参考〕           |
| 11  | トピックス           |
| 15  | シミズのものづくり       |
| 17  | 株主情報            |

# 株主のみなさまへ



会長 宮本 洋一



社長 井上 和幸

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

第115期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）上半期の、当社グループの業績及び事業活動の概況についてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなにとぞ相変りませぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成28年12月

取締役会長

宮本 洋一

取締役社長

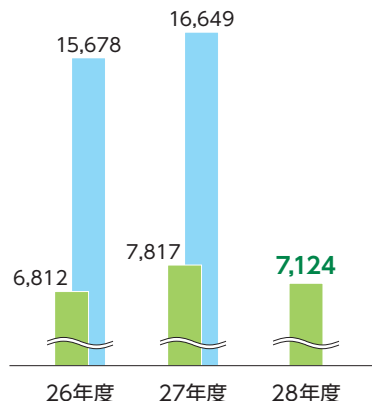
井上 和幸

# 決算ハイライト

## 連結売上高

**7,124**億円

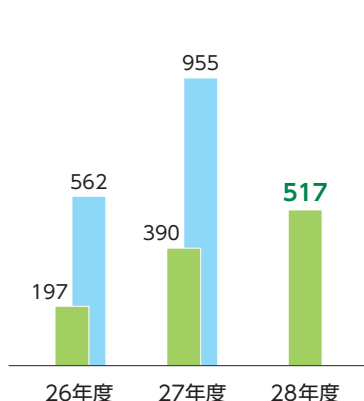
前年同期比△8.9%



## 連結経常利益

**517**億円

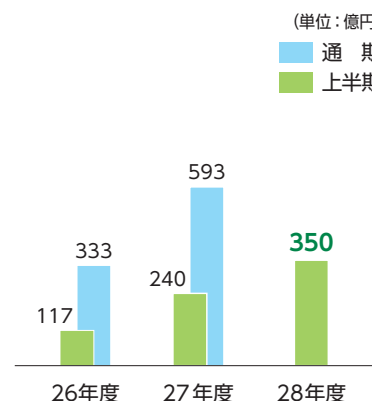
前年同期比+32.5%



## 連結当期純利益※

**350**億円

前年同期比+45.8%



※連結損益計算書上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

当上半期の日本経済は、企業収益の改善に足踏みがみられるなど弱さも見受けられましたが、緩やかな回復基調が続きました。

建設業界においては、建築工事では製造業をはじめとする設備投資に足踏みがみられたものの、土木工事では官公庁工事・民間工事とも大型案件が受注の増加に寄与し、業界全体の受注高は前年同期をやや上回る水準で推移しました。

当社グループの当上半期の売上高は、完成工事高の減少などから、前年同期に比べ8.9%減少し7,124億円となりました。

利益については、完成工事高は減少したものの、完成工事総利益率の改善による完成工事総利益の増加などから、経常利益は前年同期に比べ32.5%増加し517億円となり、純利益は350億円となりました。

なお、中間配当金は、前年同期と同額の1株につき5円といたしました。

また、連結有利子負債の残高は、前期末に比べ215億円減少し3,709億円となりました。

# 事業の概況 (連結及び当社単体)

## 連 結

### 当上半期の事業別連結業績

|         |         |                    |
|---------|---------|--------------------|
| 売 上 高   | 7,124億円 | 前年同期比<br>△ 8.9%    |
| うち 建設事業 | 6,508億円 | △ 7.6%             |
| 開発事業等   | 615億円   | △ 20.3%            |
| 売上総利益   | 879億円   | + 18.8%            |
| うち 建設事業 | 792億円   | + 23.8%            |
| 開発事業等   | 86億円    | △ 13.1%            |
| 経 常 利 益 | 517億円   | + 32.5%            |
| 当期純利益   | 350億円   | + 45.8%            |
| 有利子負債残高 | 3,709億円 | 28年3月末比<br>△ 215億円 |

### 通期の連結業績見通し

|         |           |                    |
|---------|-----------|--------------------|
| 売 上 高   | 1兆5,550億円 | 前 期 比<br>△ 6.6%    |
| 経 常 利 益 | 1,140億円   | + 19.4%            |
| 当期純利益   | 840億円     | + 41.6%            |
| 有利子負債残高 | 3,500億円以内 | 28年3月末比<br>△ 424億円 |

### 1株当たり配当金

| 中間配当金 | 期末配当金 (予定)         | 年間配当金 (予定)         |
|-------|--------------------|--------------------|
| 5円    | 14円<br>(うち特別配当金9円) | 19円<br>(うち特別配当金9円) |

### ■建設事業

売上高は、前年同期に比べ7.6%減少し6,508億円となりました。  
利益については、売上高は減少したものの、当社の工事採算が改善したことなどから、建設事業全体では23.8%増加し792億円となりました。

#### 主要な連結子会社

(株)東京鐵骨橋梁 第一設備工業(株) (株)シミズ・ビルライフケア  
シミズ・ノースアメリカLLC 清水建設 (中国) 有限公司

### ■開発事業等

売上高は、前年同期に比べ20.3%減少し615億円、利益は、前年同期に比べ13.1%減少し86億円となりました。

#### 主要な連結子会社

清水総合開発(株) (株)ミルックス (株)エスシー・マシーナリ シミズ・ファイナンス(株)  
多摩医療PFI(株) シミズ・インベストメント (アジア) 社

### ■通期の業績見通し

下半期の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待されますが、海外経済の不確実性の高まりや金融・資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

建設業界においては、引き続き労務需給や原材料価格の動向に留意を要するものの、公共投資は高めの水準を維持するうえ、首都圏を中心に不動産投資の動きは依然活発であり、受注環境は底堅く推移するものと考えております。

このような状況のもと、平成28年度通期の連結業績は、売上高1兆5,550億円(前期比△6.6%)、経常利益1,140億円(前期比+19.4%)、当期純利益840億円(前期比+41.6%)を見込んでおります。

なお、期末配当金につきましては、1株につき普通配当金5円に特別配当金9円を加えた14円を予定しております。これにより、中間配当金を加えた年間配当金は、1株につき19円を予定しております。

また、連結有利子負債の期末残高は3,500億円以内(前期末比△424億円)を見込んでおります。

## 当社単体

### 当社単体の受注（契約）高

|        |           |                 |
|--------|-----------|-----------------|
| 当上半期実績 | 6,520億円   | 前年同期比<br>△ 4.7% |
| 通期見通し  | 1兆4,000億円 | 前期比<br>+ 4.3%   |

### 当上半期の事業別当社単体業績

|         |         |                   |
|---------|---------|-------------------|
| 売上高     | 5,986億円 | 前年同期比<br>△ 10.4%  |
| うち 建設事業 | 5,811億円 | △ 8.5%            |
| 開発事業等   | 174億円   | △ 46.4%           |
| 売上総利益   | 735億円   | + 22.5%           |
| うち 建設事業 | 700億円   | + 27.9%           |
| 開発事業等   | 34億円    | △ 34.0%           |
| 経常利益    | 478億円   | + 33.1%           |
| 当期純利益   | 329億円   | + 41.5%           |
| 有利子負債残高 | 2,734億円 | 28年3月末比<br>△ 64億円 |

### 通期の当社単体業績見通し

|         |           |                    |
|---------|-----------|--------------------|
| 売上高     | 1兆2,900億円 | 前期比<br>△ 8.3%      |
| 経常利益    | 1,000億円   | + 23.2%            |
| 当期純利益   | 730億円     | + 40.2%            |
| 有利子負債残高 | 2,500億円以内 | 28年3月末比<br>△ 298億円 |

### ■受注（契約）高

当社単体の受注（契約）高は、前年同期に比べ4.7%減少し6,520億円となりました。その内訳は、建設事業98%、開発事業等2%です。建設事業受注高は、前年同期に比べ2.7%減少し6,375億円となりました。

また、開発事業等の契約高は、前年同期に比べ50.7%減少し145億円となりました。

### ■売上高

売上高については、前年同期に比べ10.4%減少し5,986億円となりました。その内訳は、建設事業97%、開発事業等3%です。

完成工事高は、建築工事が減少したことから、前年同期に比べ8.5%減少し5,811億円となりました。

また、開発事業等売上高は、前年同期に比べ46.4%減少し174億円となりました。

### ■利益

利益については、完成工事高は減少したものの、完成工事総利益率の改善による完成工事総利益の増加などから、経常利益は前年同期に比べ33.1%増加し478億円、純利益は329億円となりました。

なお、有利子負債の残高は、前期末に比べ64億円減少し2,734億円となりました。

### 主な受注工事

|      |              |                      |
|------|--------------|----------------------|
| 建築工事 | 森トラスト株式会社    | 東京ワールドゲート新築工事        |
|      | 東京団地冷蔵株式会社   | （仮称）東京団地冷蔵株式会社再整備事業  |
|      | 一般社団法人道玄坂121 | （仮称）南平台プロジェクト新築工事    |
| 土木工事 | 国土交通省        | 東京国際空港際内トンネル他築造等工事   |
|      | 中日本高速道路株式会社  | 新東名高速道路高松トンネル工事・川西工事 |

### 主な完成工事

|      |                                                                                      |                             |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 建築工事 | 東京都                                                                                  | 豊洲新市場（仮称）水産仲卸売場棟ほか建設工事（その2） |
|      | プロロジス                                                                                | プロロジスパーク茨木プロジェクト            |
|      | 東京建物株式会社<br>三井不動産レジデンシャル株式会社<br>三菱地所レジデンス株式会社<br>東急不動産株式会社<br>住友不動産株式会社<br>野村不動産株式会社 | （仮称）豊洲3-2街区計画B2街区新築工事       |
|      | 国土交通省                                                                                | 田尻地区函渠その6工事                 |
|      | 国土交通省                                                                                | 高谷IC改良その6工事                 |

# 経営方針と重点施策

当社グループは、毎期「経営3ヶ年計画」をローリング方式で策定し、グループ全体の収益力の向上に努めています。

## 『経営3ヶ年計画（平成28～30年度）』（要旨）

### 経営方針

「社会・顧客の変化を的確に捉え、建設事業の進化と収益基盤の拡大に向けた取組みを着実に推進するとともに、経営体制・収益基盤の強化を図り、シミズグループの持続的成長を実現する」

### 重点施策

#### 1. 確実な生産体制の構築による品質・安全・工程管理の徹底とより一層の生産性向上

- ・ものづくりの意識向上による現場マネジメント力の強化
- ・取引業者と一体となったイノベーション活動の取組み強化

#### 2. 建設業の担い手確保に向けた労働環境の改善

- ・意識改革と業務効率向上（ICT活用等）による労働時間の削減
- ・技能労働者の処遇改善等、シミズ・サプライチェーンの強化

#### 3. 建設事業における更なる収益力の向上

- ・プロジェクトの上流段階からの計画的な利益確保
- ・情報収集力、技術力、提案力の強化による受注拡大
- ・2020年以降も見据えた長期大型案件への戦略的取組み
- ・「環境・エネルギー対策、防災、減災」等、社会・顧客ニーズに適応した、質の高いソリューション活動の推進

※ BSP：Building Service Providerの略。竣工後の施設運営管理サービスを総合的に提供するもの。

#### 4. 収益基盤の拡大に向けた経営体制の構築

- ・グループ企業と一体となったストックマネジメント（投資開発／BSP※）事業の収益力向上
- ・エネルギーを軸としたサステナビリティ事業分野における事業化の推進
- ・建設事業だけでなく、ストックマネジメント、サステナビリティ事業を含む、全社を挙げたグローバル化の一層の推進

#### 5. ダイバーシティ経営の積極的推進と人材投資

- ・女性の活躍推進、障がい者・外国人の積極的な採用・育成
- ・優秀な人材の確保・育成に向けた「人材投資」の推進

#### 6. CSR推進及びコーポレートガバナンス確立

- ・事業活動と連動したCSR活動及び社会貢献活動への取組み
- ・コンプライアンス経営の推進によるコーポレートガバナンス実践

平成28年度を初年度とする「経営3ヶ年計画」では、「建設事業の更なる収益力向上」を第一の柱としながらも、新たな事業地域・事業領域にも経営基盤を確立していくための施策を打ち出す内容となっております。

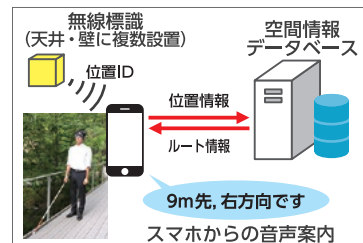
以上のような取組みを通じ、コーポレート・メッセージ「子どもたちに誇れるしごとを。」に込めた想いを、役員・従業員全員が日常の諸活動のなかで実践し、震災復興、日本経済の成長に寄与すべく、シミズグループ・トータルでの企業価値の向上を図っていく所存です。



2020年以降も見据えた長期大型案件への取組みを強化（写真：東京ワールドゲート）



質の高いインフラ技術で新興国の成長に貢献（写真：ホーチミン地下鉄（ベトナム））



2018年の実適用を目指す  
【視覚障がい者屋内外歩行ナビゲーションシステム】

# 会社概況／株式の状況

(平成28年9月30日現在)

創 業 文化元年(1804年)  
資本金 743億円  
売上高 1兆4,068 億円(平成28年3月期)  
代表者 取締役社長 井上 和幸  
従業員数 10,417名

## ■主要な営業所等

本 店 東京都中央区京橋二丁目16番1号  
北 海 道 支 店(札幌市) 東 北 支 店(仙台市)  
北 陸 支 店(金沢市) 関 東 支 店(さいたま市)  
東 京 支 店(東京都中央区) 横 浜 支 店(横浜市)  
千 葉 支 店(千葉市) 名 古 屋 支 店(名古屋市)  
関 西 支 店(大阪市) 神 戸 支 店(神戸市)  
四 国 支 店(高松市) 広 島 支 店(広島市)  
九 州 支 店(福岡市) 土 木 東 京 支 店(東京都中央区)  
国 際 支 店(シンガポール) 投 資 開 発 本 部(東京都中央区)  
エンジニアリング事業本部(東京都中央区) 技 術 研 究 所(東京都江東区)

## ■海外営業網

|     |          |         |        |
|-----|----------|---------|--------|
| 大 連 | ホーチミン    | ダッカ     | ヴロツワフ  |
| 上 海 | バンコク     | バンガロール  | プラハ    |
| 広 州 | ビエンチャン   | グルガオン   | ロンドン   |
| 香 港 | ヤンゴン     | タシケント   | ニューヨーク |
| 台 北 | クアラルンプール | ドバイ     | アトランタ  |
| マニラ | シンガポール   | イスタンブール | ケレタロ   |
| ハノイ | ジャカルタ    | ルサカ     |        |

## ■株式の状況

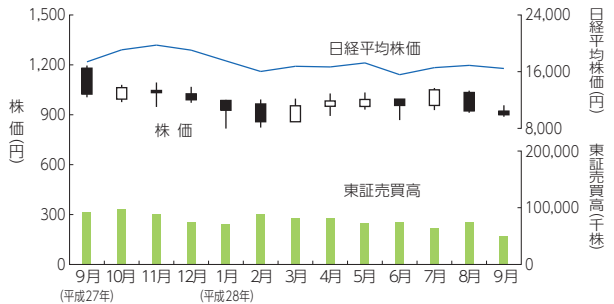
発行可能株式総数 1,500,000,000株  
発行済株式の総数 788,514,613株  
株主数 45,082名

## ■大株主の状況

| 株主名                        | 持株数<br>(千株) | 持株比率<br>(%) |
|----------------------------|-------------|-------------|
| 清水地所株式会社                   | 60,129      | 7.7         |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)    | 41,322      | 5.3         |
| 社会福祉法人清水基金                 | 38,100      | 4.8         |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)  | 33,022      | 4.2         |
| 清水建設持株会                    | 18,370      | 2.3         |
| 一般財団法人住総研                  | 17,420      | 2.2         |
| 株式会社みずほ銀行                  | 16,197      | 2.1         |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 12,622      | 1.6         |
| 第一生命保険株式会社                 | 10,564      | 1.3         |
| 富国生命保険相互会社                 | 10,552      | 1.3         |

※持株比率は、自己株式(2,598千株)を控除して計算しております。

## ■株価及び売買高の推移



連結貸借対照表 (要旨)

(単位：億円)

| 科 目            | 当上半期末<br>平成28年9月30日現在 | 前期末<br>平成28年3月31日現在 | 増 減    |
|----------------|-----------------------|---------------------|--------|
| (資産の部)         |                       |                     |        |
| 流動資産           | 10,267                | 11,203              | △ 936  |
| 現金預金           | 1,248                 | 1,891               | △ 643  |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 4,117                 | 5,489               | △1,372 |
| 有価証券           | 1,931                 | 852                 | 1,079  |
| 販売用不動産         | 166                   | 216                 | △ 49   |
| 未成工事支出金        | 899                   | 845                 | 54     |
| 開発事業支出金        | 322                   | 260                 | 61     |
| PFI事業等たな卸資産    | 543                   | 579                 | △ 36   |
| その他            | 1,047                 | 1,079               | △ 31   |
| 貸倒引当金          | △ 8                   | △ 9                 | 1      |
| 固定資産           | 5,719                 | 6,025               | △ 305  |
| 有形固定資産         | 2,308                 | 2,313               | △ 4    |
| 無形固定資産         | 42                    | 42                  | 0      |
| 投資その他の資産       | 3,367                 | 3,668               | △ 300  |
| 投資有価証券         | 3,186                 | 3,494               | △ 308  |
| その他            | 204                   | 197                 | 6      |
| 貸倒引当金          | △ 22                  | △ 22                | 0      |
| 資産合計           | 15,987                | 17,229              | △1,242 |

(資産の部)

現金同等物（現金預金及び有価証券に含まれる譲渡性預金）は増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、前期末に比べ1,242億円減少しました。

| 科 目               | 当上半期末<br>平成28年9月30日現在 | 前期末<br>平成28年3月31日現在 | 増 減    |
|-------------------|-----------------------|---------------------|--------|
| (負債の部)            |                       |                     |        |
| 流動負債              | 7,803                 | 8,675               | △ 872  |
| 支払手形・工事未払金等       | 3,533                 | 4,413               | △ 879  |
| 短期借入金             | 1,164                 | 1,251               | △ 87   |
| 1年内返済予定のノンリコース借入金 | 71                    | 94                  | △ 22   |
| 1年内償還予定の社債        | 250                   | 250                 | -      |
| 1年内償還予定のノンリコース社債  | 171                   | 6                   | 164    |
| 未成工事受入金           | 1,132                 | 1,029               | 103    |
| 完成工事補償引当金         | 35                    | 37                  | △ 2    |
| 工事損失引当金           | 170                   | 229                 | △ 59   |
| 役員賞与引当金           | -                     | 1                   | △ 1    |
| その他               | 1,274                 | 1,361               | △ 87   |
| 固定負債              | 3,327                 | 3,697               | △ 369  |
| 社債                | 650                   | 650                 | -      |
| 転換社債型新株予約権付社債     | 301                   | 301                 | △ 0    |
| ノンリコース社債          | -                     | 167                 | △ 167  |
| 長期借入金             | 707                   | 767                 | △ 60   |
| ノンリコース借入金         | 393                   | 435                 | △ 41   |
| 関連事業損失引当金         | 52                    | 55                  | △ 2    |
| 退職給付に係る負債         | 665                   | 681                 | △ 15   |
| その他               | 558                   | 638                 | △ 80   |
| 負債合計              | 11,131                | 12,372              | △1,241 |
| (純資産の部)           |                       |                     |        |
| 株主資本              | 3,620                 | 3,354               | 266    |
| 資本金               | 743                   | 743                 | -      |
| 資本剰余金             | 431                   | 431                 | △ 0    |
| 利益剰余金             | 2,461                 | 2,195               | 266    |
| 自己株式              | △ 15                  | △ 15                | △ 0    |
| その他の包括利益累計額       | 1,189                 | 1,452               | △ 262  |
| 非支配株主持分           | 45                    | 49                  | △ 3    |
| 純資産合計             | 4,855                 | 4,856               | △ 0    |
| 負債純資産合計           | 15,987                | 17,229              | △1,242 |

1株当たり純資産額 613.11円 612.70円

(負債の部)

支払手形・工事未払金等の減少などにより、前期末に比べ1,241億円減少しました。

(純資産の部)

親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したものの、株式相場の下落に伴うその他有価証券評価差額金の減少などにより、前期末とほぼ同額となりました。

備考：金額の億円未満は、切捨て表示しております。

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：億円)

| 科 目                                      | 当上半期<br>平成28年4月1日から<br>平成28年9月30日まで | 前年同期<br>平成27年4月1日から<br>平成27年9月30日まで | 前年同期比   |
|------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---------|
| 売上高                                      | 7,124                               | 7,817                               | △ 8.9%  |
| 完成工事高                                    | 6,508                               | 7,045                               | △ 7.6%  |
| 開発事業等売上高                                 | 615                                 | 772                                 | △ 20.3% |
| 売上原価                                     | 6,245                               | 7,077                               |         |
| 完成工事原価                                   | 5,716                               | 6,405                               |         |
| 開発事業等売上原価                                | 528                                 | 672                                 |         |
| 売上総利益                                    | 879                                 | 740                                 | 18.8%   |
| 完成工事総利益                                  | 792                                 | 640                                 | 23.8%   |
| 開発事業等総利益                                 | 86                                  | 99                                  | △ 13.1% |
| 販売費及び一般管理費                               | 361                                 | 344                                 |         |
| 営業利益                                     | 517                                 | 395                                 | 30.9%   |
| 営業外収益                                    | 43                                  | 40                                  |         |
| 営業外費用                                    | 42                                  | 44                                  |         |
| 経常利益                                     | 517                                 | 390                                 | 32.5%   |
| 特別利益                                     | 3                                   | 6                                   |         |
| 特別損失                                     | 1                                   | 2                                   |         |
| 税金等調整前当期純利益                              | 520                                 | 395                                 | 31.6%   |
| 法人税等                                     | 169                                 | 154                                 |         |
| 当期純利益                                    | 350                                 | 241                                 |         |
| 非支配株主に帰属する当期純利益又は<br>非支配株主に帰属する当期純損失 (△) | △ 0                                 | 0                                   |         |
| 親会社株主に帰属する当期純利益                          | 350                                 | 240                                 | 45.8%   |
| 1株当たり当期純利益                               | 44.68円                              | 30.65円                              |         |

売上高は、完成工事高の減少などから、前年同期に比べ8.9%減少し7,124億円となりました。

営業利益は、完成工事高は減少したものの、完成工事総利益率の改善による完成工事総利益の増加などから、前年同期に比べ30.9%増加し517億円となりました。

経常利益は517億円、特別損益や法人税等を加減した親会社株主に帰属する当期純利益は350億円となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：億円)

| 科 目              | 当上半期<br>平成28年4月1日から<br>平成28年9月30日まで | 前年同期<br>平成27年4月1日から<br>平成27年9月30日まで | 増 減   |
|------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------|
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 2,741                               | 2,424                               | 316   |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 855                                 | △ 236                               | 1,091 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 62                                | △ 45                                | △ 16  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 301                               | △ 79                                | △ 221 |
| その他の増減額          | △ 54                                | △ 11                                | △ 43  |
| 現金及び現金同等物の増減額    | 436                                 | △ 372                               | 809   |
| 現金及び現金同等物の上半期末残高 | 3,178                               | 2,052                               | 1,125 |

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益520億円を計上したことに加え、売上債権の回収などにより855億円の資金増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、賃貸事業用資産の取得などにより62億円の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより301億円の資金減少となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当上半期末の残高は、前期末に比べ436億円増加し3,178億円となりました。

# 当社単体

## 貸借対照表 (要旨)

(単位：億円)

| 科 目      | 当上半期末<br>平成28年9月30日現在 | 前期末<br>平成28年3月31日現在 | 増 減    |
|----------|-----------------------|---------------------|--------|
| (資産の部)   |                       |                     |        |
| 流動資産     | 8,125                 | 8,748               | △ 622  |
| 現金預金     | 719                   | 1,312               | △ 592  |
| 受取手形     | 301                   | 382                 | △ 80   |
| 完成工事未収入金 | 3,362                 | 4,398               | △1,036 |
| 有価証券     | 1,930                 | 850                 | 1,080  |
| 販売用不動産   | 24                    | 33                  | △ 8    |
| 未成工事支出金  | 841                   | 808                 | 33     |
| その他      | 953                   | 972                 | △ 19   |
| 貸倒引当金    | △ 7                   | △ 8                 | 1      |
| 固定資産     | 5,456                 | 5,785               | △ 328  |
| 有形固定資産   | 1,851                 | 1,875               | △ 23   |
| 無形固定資産   | 30                    | 31                  | △ 0    |
| 投資その他の資産 | 3,574                 | 3,879               | △ 304  |
| 投資有価証券   | 3,437                 | 3,753               | △ 315  |
| その他      | 160                   | 149                 | 10     |
| 貸倒引当金    | △ 23                  | △ 23                | 0      |
| 資産合計     | 13,582                | 14,534              | △ 951  |

| 科 目           | 当上半期末<br>平成28年9月30日現在 | 前期末<br>平成28年3月31日現在 | 増 減   |
|---------------|-----------------------|---------------------|-------|
| (負債の部)        |                       |                     |       |
| 流動負債          | 6,821                 | 7,640               | △ 818 |
| 支払手形          | 299                   | 96                  | 202   |
| 工事未払金         | 2,717                 | 3,690               | △ 972 |
| 短期借入金         | 871                   | 878                 | △ 7   |
| 1年内償還予定の社債    | 250                   | 250                 | -     |
| 未成工事受入金       | 993                   | 905                 | 88    |
| 完成工事補償引当金     | 31                    | 32                  | △ 1   |
| 工事損失引当金       | 166                   | 226                 | △ 60  |
| 役員賞与引当金       | -                     | 1                   | △ 1   |
| その他           | 1,492                 | 1,559               | △ 66  |
| 固定負債          | 2,670                 | 2,813               | △ 143 |
| 社債            | 650                   | 650                 | -     |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 301                   | 301                 | △ 0   |
| 長期借入金         | 662                   | 719                 | △ 57  |
| 退職給付引当金       | 437                   | 439                 | △ 1   |
| 関連事業損失引当金     | 41                    | 41                  | -     |
| その他           | 577                   | 662                 | △ 84  |
| 負債合計          | 9,491                 | 10,454              | △ 962 |
| (純資産の部)       |                       |                     |       |
| 株主資本          | 2,753                 | 2,507               | 245   |
| 資本金           | 743                   | 743                 | -     |
| 資本剰余金         | 431                   | 431                 | 0     |
| 利益剰余金         | 1,589                 | 1,343               | 245   |
| 自己株式          | △ 11                  | △ 11                | △ 0   |
| 評価・換算差額等      | 1,337                 | 1,572               | △ 234 |
| 純資産合計         | 4,090                 | 4,079               | 11    |
| 負債純資産合計       | 13,582                | 14,534              | △ 951 |
| 1株当たり純資産額     | 520.51円               | 519.08円             |       |

備考：金額の億円未満は、切捨て表示しております。

## 損益計算書 (要旨)

(単位：億円)

| 科 目        | 当上半期<br>平成28年4月1日から<br>平成28年9月30日まで | 前年同期<br>平成27年4月1日から<br>平成27年9月30日まで | 前年同期比   |
|------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---------|
| 売上高        | 5,986                               | 6,678                               | △ 10.4% |
| 完成工事高      | 5,811                               | 6,353                               | △ 8.5%  |
| 開発事業等売上高   | 174                                 | 325                                 | △46.4%  |
| 売上原価       | 5,250                               | 6,078                               |         |
| 完成工事原価     | 5,110                               | 5,805                               |         |
| 開発事業等売上原価  | 139                                 | 272                                 |         |
| 売上総利益      | 735                                 | 600                                 | 22.5%   |
| 完成工事総利益    | 700                                 | 547                                 | 27.9%   |
| 開発事業等総利益   | 34                                  | 52                                  | △34.0%  |
| 販売費及び一般管理費 | 284                                 | 263                                 |         |
| 営業利益       | 451                                 | 337                                 | 33.8%   |
| 営業外収益      | 65                                  | 62                                  |         |
| 営業外費用      | 38                                  | 39                                  |         |
| 経常利益       | 478                                 | 359                                 | 33.1%   |
| 特別利益       | 2                                   | 6                                   |         |
| 特別損失       | 1                                   | 2                                   |         |
| 税引前当期純利益   | 479                                 | 363                                 | 31.9%   |
| 法人税等       | 150                                 | 131                                 |         |
| 当期純利益      | 329                                 | 232                                 | 41.5%   |
| 1株当たり当期純利益 | 41.92円                              | 29.63円                              |         |

### ■中間配当について

- 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
当社普通株式1株につき金5円 総額3,929百万円
- 剰余金の配当が効力を生じる日  
平成28年12月2日

## 受注 (契約) 高・売上高・繰越高の内訳

(単位：億円)

| 区 分   | 前期繰越高  | 当上半期<br>受注 (契約) 高 | 当上半期<br>売上高 | 次期繰越高  |
|-------|--------|-------------------|-------------|--------|
| 建設事業  |        |                   |             |        |
| 建 築   | 8,917  | 4,765             | 4,439       | 9,243  |
| 土 木   | 4,649  | 1,609             | 1,372       | 4,886  |
| 計     | 13,567 | 6,375             | 5,811       | 14,130 |
| 開発事業等 | 265    | 145               | 174         | 236    |
| 合 計   | 13,832 | 6,520             | 5,986       | 14,366 |

## 建設事業受注高の内訳

(単位：億円)

| 区 分 | 当上半期<br>平成28年4月1日から<br>平成28年9月30日まで | 前年同期<br>平成27年4月1日から<br>平成27年9月30日まで | 増 減   |
|-----|-------------------------------------|-------------------------------------|-------|
| 建 築 |                                     |                                     |       |
| 国 内 | 4,701                               | 4,844                               | △ 143 |
| 海 外 | 64                                  | 224                                 | △ 160 |
| 計   | 4,765                               | 5,069                               | △ 303 |
| 土 木 |                                     |                                     |       |
| 国 内 | 1,646                               | 1,398                               | 247   |
| 海 外 | △ 37                                | 81                                  | △ 118 |
| 計   | 1,609                               | 1,479                               | 129   |
| 合 計 |                                     |                                     |       |
| 国 内 | 6,347                               | 6,243                               | 104   |
| 海 外 | 27                                  | 306                                 | △ 278 |
| 計   | 6,375                               | 6,549                               | △ 174 |

## トピックス

### 国立西洋美術館が世界文化遺産に登録決定

20世紀を代表する建築家であるル・コルビュジエ氏が、東アジアで唯一設計を手がけた国立西洋美術館の世界文化遺産への登録が、2016年7月17日に決定しました。当社が担当した工事から、同美術館本館新築工事（1959年竣工）と本館耐震改修工事（1998年竣工）をご紹介します。

#### コンクリート施工の名人、当社の森丘四郎が施工を担当

本館新築工事の施工にあたり、ル・コルビュジエ氏の直弟子として設計協力していた前川國男氏から、現場主任として指名されたのが当社の森丘四郎でした。当時の森丘は、コンクリート施工の名人とうたわれており、その期待に応えるべく、一流の職人を集め、工事に臨みました。

デザインの要となる打ち放しコンクリート円柱の施工では、当社東京木工場の職人たちが、高価な姫小松材を用いて円筒状の型枠を製作しました。継手に雇い実矧※を用いたその手作業は「まるで家具職人の仕事」と関係者から評されました。今も残る円柱の木目は、東京木工場の匠の技によるものです。

※雇い実矧（やといざねはぎ）：双方の枝材の側面に溝をつくり、その溝に木片を差し込んで接合する方法



現場主任を務めた森丘四郎(1906～1992)。建築研究のため仏のリヨン美術学校に入学。1928年から30年までオーギュスト・ペレ（鉄筋コンクリート造建築の先駆者として活躍した20世紀を代表する建築家）のアトリエで学ぶ。1933年清水組（現：清水建設）入社。



1958年、施工中の様子  
写真提供：国立近現代建築資料館



型枠建て込み前の円柱の足元  
写真提供：文教施設協会



本館耐震改修工事で設置した免震装置

#### 耐震改修工事では国内初の免震レトロフィットを採用

本館耐震改修工事では、来館者の安全性確保や美術品の保護などに加え、ル・コルビュジエ氏の意匠を継承することが目的となりました。そこで、地上の建物はそのまま動かさず、地中にある基礎の下に免震装置を取り付ける免震レトロフィットを国内で初めて採用。約1万tある建物を水平に保ち続けながら、建物下に168本の鋼管杭を圧入して建物を仮受けして掘削し、49本の柱の下に免震装置を取り付けました。



国立西洋美術館。2007年に国の重要文化財に指定  
写真提供：国立西洋美術館

## ICTを活用して建設現場の生産性向上を推進

建設業界では、技能者の高齢化が進み、将来労働力の大幅な減少が予想されており、更なる業務効率化や生産性向上への取組みが急務となっています。こうした状況を受け、当社でもICT（情報通信技術）を活用した技術開発と現場への展開を進めています。

### タブレットを活用して建築現場の施工管理を効率化

当社ではこれまでも、現場事務所内でパソコンの利用を基本としたICTツールを活用し、現場施工管理業務の効率化に取り組んできました。最近では、現場内でも使用可能なタブレット端末を導入。朝礼や会議など日常業務での活用、図面の確認や承認での活用、各種検査での活用など、多様な場面でタブレットを活用した業務効率化を図っています。



配筋検査の構造図確認のタブレット使用例。分厚い図面や資料を持ち歩かなくてもタブレットで即確認できる

会議でのタブレット使用例。資料をその場で自由に拡大したり、手書きで注記できるため、従来のPCよりも利便性が高い



### 土木現場でもICTを活用、ロボット技術も新開発

国土交通省では、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新にいたるまで、すべての建設生産プロセスにICTを導入する取組み「i-Construction」を推進しています。当社におけるその現場事例として、多数のICTを活用したのが陸前高田市高田地区・今泉地区整地工事です。計画面積約300ha、土量約1,200万m<sup>3</sup>という大規模な造成を行うにあたり、UAV（無人航空機）による航空測量やICT建機（ブルドーザーやローラー）による敷き均し、締め固め管理などを実施。少人数で効率よく工事を進め、生産性の向上を図りました。



UAVと離陸用発射台



ICTブルドーザーによる敷き均し管理

また、東京外環自動車道大和田工事では、当社とアクティブリンク株式会社、株式会社エスシー・マシーナリで共同開発した「配筋アシストロボ」の稼働テストを実施しています。同



配筋アシストロボの稼働テスト

ロボは、人間の右腕の機能をスケールアップしてロボット化したもの。従来6～7人を要していた200kgクラスの重量鉄筋の配筋作業を無理なく3人で効率的に行える見込みです。

# トピックス

## 新潟県で水力発電所をフルターンキーで施工中

新潟県糸魚川市南西部の山間で、水力発電となる「新青海川発電所」建設工事が進められています。当社は、本工事をフルターンキー（工事に着手するための許認可申請業務から設計、施工までを一貫して請け負う契約）で受注しました。

### お客様の100周年記念事業として水力発電所を整備

本工事は、総合化学メーカーであるデンカ株式会社の創立100周年記念事業として、同社の次の100年に向けた事業基盤のさらなる強化と、クリーンエネルギーを用いた環境配慮と社会貢献に資するべく計画されたものです。

日本海に注ぐ青海川の上流部2か所に取水堰堤を設け、そこから導水路トンネル、水槽、延長576m、高低差215mの水圧管路を経由して、発電所内の発電機2基で約8,000kWの電力を発電する予定です。

### 複雑な許認可申請業務はすでに100件超

本工事では複雑な各種許認可申請業務も当社で行っています。河川法、砂防法、森林法、土壤汚染対策法、電気事業法のほか、各種条例など関係する法令に適合するよう、1件ずつ慎重に許認可業務を進めており、これまでの申請件数は100件を超えています。

また、本工事ではトンネル掘削、導水路敷設、道路・橋梁などの築造、水圧管敷設、発電所建設など、様々な工種の土木工事が集約され施工されます。冬期は積雪量が多いため休工となりますが、その間も施工計画の調整や許認可申請業務を続け、2020年4月の完成を目指します。



現場全景



掘削中の導水路トンネル



水圧管路の基礎工事

## 建設業の魅力を広める取組みに参画, 協力

建設業の魅力をより多くの人に伝え、広めていこうと、当社では内閣府や建設業の関連団体が取り組む広報活動やイベントなどに積極的に参画、協力しています。また当社では2008年から、CSRの一環として一般向けの公開講座「シミズ・オープン・アカデミー」も開催しています。

### 体験学習や現場見学会などでものづくりを伝える

内閣府男女共同参画局では、理工系分野に興味がある女子中学生を対象に、将来像をイメージしたうえで進路選択(チャレンジ)することを応援する「理工チャレンジ(リコチャレ)」という取り組みを行っています。



東京木工場で開催した女子中学生の「理工チャレンジ(リコチャレ)」体験



けんせつ小町「外環大和田女性会」の小学校での出前授業

当社はその応援団体に登録しており、当社技術研究所や東京木工場、建設現場で、建設業の魅力をふれてもらうイベントを開催しています。

また、一般社団法人日本建設業連合会は、建設業で活躍する女性の愛称を「けんせつ小町」と定め、建設業における女性活躍をアピールする取り組みを推進しています。

当社でも、建築、土木、

それぞれの現場で「けんせつ小町工事チーム」を結成し、地域の小中学生を対象にした現場見学会や職場体験学習、出前授業などを行って、ものづくりの喜びややりがいを伝えています。

### シミズ・オープン・アカデミーの受講者が4万人に

シミズ・オープン・アカデミーでは、当社技術研究所の施設見学や建設の歴史・最新技術に関する各種講座などを開催しています。その受講者が2016年8月に4万人に到達し、記念セレモニーを行いました。4万人目の受講者となったのは関東学院中学校高等学校の皆さんでした。今後もシミズ・オープン・アカデミーでは、様々なプログラムを通じて、社会と建設業の関わりや建設の魅力、楽しさを広く社会に発信していきます。



シミズ・オープン・アカデミー受講者4万人達成の記念セレモニーと講座の様子

# シミズのものづくり

## 秋田市庁舎

「市民に親しまれ、市民サービスの向上を実現する、人によさしい庁舎」などを基本コンセプトに掲げた市庁舎が完成し、「秋田らしい新庁舎」として歩み始めました。

この新庁舎が、市民が気軽に集い、語らう場となり、秋田市の新たなシンボルとして、末永く心に刻まれていくよう、関係者全員が一丸となって取り組みました。



### ■工事概要

所在地：秋田県秋田市山王 1-1-1  
発注者：秋田市  
設計・監理：日本設計・渡辺佐文建築設計・  
コスモス設計秋田市新庁舎建設  
設計共同企業体  
工期：2013年12月～2016年4月

秋田市庁舎全景



建物中央に設けられた吹き抜け。トップライトから自然光と風を取り入れ、快適な環境を実現



地元産の秋田杉が使われている1階市民ホール



5階議場

## お客様から



秋田市新庁舎建設室  
参事 小原 正明 様

10か所に分散していた部局を集約したほか、市民の活動の場と子育て支援機能を備えた「中央市民サービスセンター」を併設するなど、多くの市民に親しまれ、利用される庁舎を目指しました。

工事中、御社には「工事かわら版」を毎月、計26号発行するとともに、計49回、延べ1,590人を対象に現場見学会を開催していただきました。これほどの大事業を、適時市民に情報公開しながら、透明性高く進められたのは御社のおかげです。新庁舎が市民の拠り所となり、次世代、その次の世代にも愛され続けることを願っています。

## 安全を最優先しながら施工精度を確保

本工事で、最も細心の注意を払い施工したのが、最上階の議場の外装アルミカーテンウォールとガラスの取付けです。冬場の風が強い時期での高所作業であったため、安全を最優先しながら施工精度を確保しました。また、現場の隣には稼働する旧庁舎があるため、クレーンの



工事長 稲川 松基

回旋範囲や大型工事車両の入退場時間などを制限することで、来庁者や職員の皆さんの安全確保に努めました。  
着工当初、工事の進捗がままならない場面もありましたが、関係者のひたむきな努力により、予定通り竣工しました。関係者全員が同じ方向を向き力を合わせれば、どんな困難なプロジェクトでも必ず完遂できることを本工事を通じて改めて認識しました。

## 本社・支店・現場、この組織力こそが当社の強み

当社が秋田で初めて工事を受注したのは1927(昭和2)年のこと。以来、秋田市立総合病院や中央卸売市場などの秋田市の中核施設をはじめ、銀行、工場、新聞社などの民間施設も幅広く手がけてきました。



営業担当 菊地 正

今回の市庁舎建て替えの情報を入手したのは十数年前。秋田市における歴史的事業であるため、ぜひ当社で取り組みたいと考え、情報収集を重ねました。受注できたときの喜びは今でも忘れられません。総合評価方式での入札にあたり、本社や支店の関係者に協力を依頼し、快く尽力してくれたこと、この組織力こそが当社の強みだと思います。

## 自ら率先して現場をとりまとめる

本工事では、設備工事の施工管理担当者として、工事の最初から最後まで携わりました。工事中に心がけたのは、自分から率先して現場をとりまとめて、工事を進めること。建築工事の打ち合わせにも積極的に参加し、工事全体の進捗を把握したうえで、どうしたら設備



施工担当 白井 良尚

工事の作業が効率化できるかといった改善策を考え、実践しました。また、天井裏や壁の内側など、竣工後は見えなくなる部分の設備も徹底的に検査し、品質を確保しました。  
毎日現場で上職者や先輩、取引業者の皆さんと対話を続けたことで、品質や工程、安全を管理するうえでのノウハウや技術など、多くのことを学ぶことができました。

# 株主情報

## 個人株主様向けIRイベント開催のご報告

11月6日(日), 個人株主様を対象とした東京木工場見学会を開催しました。

東京木工場(東京都江東区木場二丁目15番3号)は, 1884年(明治17年)に開設した総合建設業唯一の自社内工場です。当日は, 製作機械を稼働させ, 木工製品の実際の製作プロセスをご見学いただくとともに, 展示室では, 様々な木材とその特性, 材料の切り出し方, 組上げの方法などをご覧いただき, 木を知り尽くした現代の匠たちの技術を実感していただきました。

参加された株主様からは「木の良さ, 木材の温かみを再認識することができた」, 「地道な作業の中に匠の技が埋め込まれていることに感心した」との声を頂戴し, 当社が伝承し続けてきた木工技術について理解を深めていただく良い機会となりました。今後も継続して株主様を対象としたイベントを実施してまいります。



展示室での説明の様子



工場内での説明の様子

## 株主優待品の贈呈について

平成29年3月期の株主優待品は, 前回に引き続き, 当社東京木工場が製作した木製グッズといたします。

平成29年3月31日現在のご所有株式数に応じて, 優待品をご登録の住所にお送りいたします。送付時期は平成29年7月末頃を予定しております。

| ご所有株式数            | 平成29年3月期の優待品 |
|-------------------|--------------|
| 1,000株以上5,000株未満  | 干支柄コースター(2個) |
| 5,000株以上10,000株未満 | 自立式まな板       |
| 10,000株以上         | 小物入れ         |



優待品イメージ

## 株主メモ

### 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### 定時株主総会

6月

### 基準日

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

### 株主名簿管理人

#### 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

電話 0120-232-711 (通話料無料)

### 公告掲載方法

#### 電子公告

公告掲載URL (<http://www.shimz.co.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### 株式に関する各種手続きについて

- ☐ 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、お取引の証券会社にお問合せください。
- ☐ 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行（左記連絡先）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- ☐ 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 特別口座の株主様へ

「特別口座」は、株券電子化までに株券をほふりへ預託されなかった株主様の権利を保全するため、当社が株主様の名義で、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。

特別口座の株式は各株主様の財産であるものの、特別口座のままでは売買ができず、売買するためには、株主様が証券会社に開設した口座へ「振替」（株数等の記録を移す）手続きが必要になります。速やかにお手続きされることをお勧めいたします。

※振替手数料無料

お問合せ先は、次のとおりです。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (通話料無料)

ウェブサイト <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

◎「特別口座の株式を証券会社の口座へ振替えたい」とお伝えください。

### 配当金を郵便局窓口でお受取りの株主様へ

郵便局での配当金のお受取りには、払渡期間があらかじめ定められておりますので、払渡期間内にお受取りください。また、**支払開始日から満3年を経過すると、定款の規定により配当金をお支払いできないことになります。**

安心・確実に配当金をお受取りいただくため、口座受取りの制度をご利用いただくことをお勧めいたします。

口座受取りの制度をご利用いただきますと、配当金をご指定いただきました銀行口座もしくは証券会社の口座で受取ることができるようになります。

お問合せ先は、次のとおりです。

#### ■証券会社に口座をお持ちの株主様

お取引の証券会社

#### ■証券会社に口座をお持ちでない株主様（特別口座の株主様）

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (通話料無料)

◎「配当金を口座受取りの方法で受領したい」とお伝えください。

## ホームページのご案内



<http://www.shimz.co.jp/>

当社ホームページでは、「株主・投資家情報」をはじめ、「実績・技術ソリューション」、「CSR活動」など、様々な情報を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

表紙写真  
YAMATO文化森（神奈川県大和市）  
設計・監理／  
株式会社佐藤総合計画  
当社



清水建設株式会社

〒104-8370 東京都中央区京橋二丁目16番1号

TEL 03-3561-1111 (大代表)

<http://www.shimz.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

